

平成23年度
実施事業

事務事業名 水中運動教室受講者助成経費

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	2	保健予防活動の充実
小分類	1	成人保健の充実
主要な施策	2	健康教育・健康相談体制の充実
事務事業番号	003	事業開始年度 平成 16 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 国民健康保険特別会計

部 名	保健福祉部	グループ名	国民健康保険G
-----	-------	-------	---------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	水中運動教室への参加機会を拡大することにより、健康の保持・増進を図り、被保険者の健康管理に対するの自覚と認識を促すことを目的とします。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	市民プールで実施の水中運動教室に参加する被保険者に対し、受講料の半額(1,000円)を助成した。 【事業実績】 ・受講者数(延べ)1,025人
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	健康の保持・増進と生活習慣病や整形疾患等の予防・改善を図るためにも事業を継続していく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費(財源内訳)の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称 国民健康保険税	千円	1,090	1,025	1,320	1,320	1,320
一般財源	名称	千円					
事業費合計			1,090	1,025	1,320	1,320	1,320

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果指標	主な生活習慣病(高血圧・糖尿病・脂質異常症等)に係る1人当たり医療費を全道平均以下にする(H23年5月レポート分析:上段が道・下段が当市) 疾病分類121分類より	円	目標値	2,748	4,751	4,751	4,751	4,751
			実績値	2,708	4,179			
	アンケート調査(2年に1回予定)にて、教室参加後に健康感が上昇したと回答した方の割合	割合	目標値	8		8		8
			実績値	9				

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<ul style="list-style-type: none"> ・H23年度受講者数：延べ1,025人 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員の関係し受講者数の拡大は困難ではあるが広報での周知も行いながら現状の事業を継続していく。 	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 本事業は、被保険者の水中運動教室受講料を半額助成するものであり、教室そのものを市が直接実施するわけではない。したがって、被保険者の健康づくりのために、市(保険者)が受講料の一部を助成していくことは、妥当である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 22年度の教室参加者に対するアンケート調査(2年に1回実施予定)から、「体重減少した方」が約3割、「体重維持している方」が6割強で、「教室に参加後、健康になったと思うか」に対しては、約9割の方が「そう思う」と答えている。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 市直営での事業実施ではなく、教室への申込や助成金の申請等を含めて、文化・スポーツ振興財団に全面委託しており、既に事務の効率化を図っている。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 22年度の教室参加者に対するアンケート調査(2年に1回実施予定)から、「体重減少した方」が約3割、「体重維持している方」が6割強で、「教室に参加後、健康になったと思うか」に対しては、約9割の方が「そう思う」と答えている。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	水中運動教室は、幅広い被保険者層の参加が可能であり、生活習慣病や整形疾患を予防・改善することが期待できるため、維持していく。
----	----------------------	--

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
----	----